

# 英文学科企画 N.フック先生 講演会



英文学科企画・運営による平成17年度第2回文学部講演会は7月7日(木)、長久手キャンパスで開かれました。講師は英国総領事で愛地球博ジェネラル・コミッションのニール・フック先生で、演題は「My Life Overseas as a Diplomat」でした。

先生は外務省入省後、モスクワ、東京(3回目は2001年から現在に至る)、ダッカ、アシガバート、ムバネ等々で諸外国と本国との政治・経済的、文化的交流その他の面で活躍のなか、大使等を勤めてこられました。

ご講演は、本が好きなため近く



の本屋でロシア語のものを買っては国へ送りスバイと間違えられたモスクワ時代から、発展する日本での折々の経験、フォークランド紛

争時の現地英国人を説得する苦勞等を明晰な口調でお話になり、一見華やかな外交官の厳しい現実を柔軟に、時には楽しく引き抜いてこられたその人生の重みは聴衆に深い感動を与えました。先生は偶然、新聞の広告を読んで外交官になっていかれたそうですが、逆質問された学生が「I have a dream」と答えるのを聞いて頼もしく思う時となりました。

英国最初の駐トルクメニスタンの大使時代からの興味深いお話と本場の英語を改めて聞きたい方は、英文学科事務へお知らせ下さい。

(英文学科 山田幹郎)

# 講演会報告 LECTURE

## 国文学科企画で M.ワトソン先生が 講演



国文学科企画・国文学会運営の第1回文学部講演会が6月27日(月)、長久手キャンパスで開かれました。講師は明治学院大学教授のマイケル・ワトソン先生で、演題は「外国における古典物語文学受容の1世紀とその外国語訳について」でした。

先生は「覚一本平家物語の(語り)の研究」によりオックスフォード大学から博士号を取得された世界有数の平家物語研究者です。平家物語研究の世界的権威である本学の山下宏明先生とも親しく研究上の交際を続けていらつしやいますが、今回はそのご縁でお招きすることができました。

講演では落窪物語、蜻蛉日記、平家物語等いくつかの代表的な古典文学作品に即し、それらが外国語訳された時に生ずる様々な問題を、歴史・文化・言語構造等の差異に触れながら、具体的な



事例を取り上げ、映像資料を駆使して、分かりやすくそして興味深くお話しくださいました。

講演の内容もさることながら、先生の流暢かつユーモアにあふれた日本語に驚嘆するとともに、日英二か国語に留まらない多言語駆使能力にため息さえ漏れるほどでした。なお、講演内容の詳細については、国文学科のホームページに掲載中です。

(国文学科 久保朝孝)

# Academic Library

## 著書紹介

### 「ORI研究倫理入門」 (Nichoras H. Stenek 著)

文学部教授 山崎茂明(翻訳)  
▼A5版/163ページ/丸善/1,900円/2005.1発行  
▼米国の研究公正局(ORI)は、科学研究の不正行為を防止するために設けられた専門機関。ライフサイエンス分野の研究者が、責任ある研究を行うためにはどのように行動すべきかについてまとめた教育用テキスト。



### 「日本童謡事典」

文化創造学部助教授 酒井晶代(共著)  
▼菊判/463ページ/東京堂出版/4,800円+税/2005.9.7発行  
▼上笙一郎氏の編により、わらべ歌からアニメソングまで広く「日本の子どもの歌」に関する作品・人名・関連事項を収録した事典。文部省唱歌「牛若丸」をはじめ「近藤朔風」「斎藤信夫」など計6項目を執筆した(一部、編者との共同執筆を含む)。



### 「専門資料論」

文学部教授 菅野育子(共著)  
▼A4判/140ページ/日本図書館協会/1,200円/2005.6発行  
▼本書は、専門分野における知識の構造と資料との関係について理解を深めるためのものである。特に専門資料の背景にある構造を理解できるよう、その生成、流通、保管、利用の一連のプロセスについて詳しく述べている。なお本書は、日本図書館協会から発行されている『図書館情報学テキストシリーズ』の一つであり、図書館司書課程科目の「専門資料論」のテキストとしても利用されている。



### 「口蓋裂の言語臨床 第2版」

医療福祉学部医療貢献学科言語聴覚学専攻教授 加藤正子(共編者)  
▼A5判/168ページ/医学書院/5,250円/2005.3発行  
▼口蓋裂は発生頻度の多い先天的形態異常で、障害が口腔内にあるため、言語の問題は大きい。本書は第2版であるが、新しい執筆者を加え、最新の医療技術の紹介と胎児診断で告知を受けた家族から成人本人まで、すべての口蓋裂患者に必要な言語臨床が体系的に書かれている。

